

第3学年*組英語科学習指導案

指導者 池野 那穂子

A L T Emmelinda Shinotsuka

1 単元名 Speaking Plus 3 道案内—乗り物での行き方をたずねる・教える

2 目標

- ある場所への乗り物での行き方や、それに対する応答を身に付けるために言語活動に意欲的に参加しようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 「～への行き方を教えていただけますか。」とたずねたり、それに対する応答をしたりすることができる。 (外国語表現の能力)
- 道案内の会話から、目的地までの行き方を理解することができる。 (外国語理解の能力)
- ていねいな依頼やそれに対する応答、乗り物についてよく使う表現を身に付けることができる。 (言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

中学校学習指導要領解説外国語編では(2)言語活動の取扱いで、繰り返し学習することで定着を図ることの重要性が指摘されている。イ(ウ)では「第3学年においては、第1学年及び第2学年の学習内容を、言語活動の中で繰り返し学習することで、言語材料の定着を図るとともに、それらを実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動において活用させることが重要」とある。本単元では、既習表現である、Could you～? (丁寧な依頼)やhow to～ (～のしかた)などを、言語活動を通して、自然に再度確認しながら反復練習することができる。さらに自分が知っている情報を友だちに伝えたり、知らない情報を友だちから聞いたりする活動に適しており、コミュニケーション能力の向上にもつながる単元である。

(2) 生徒の実態

調査の結果から、SpeakingとListeningの活動に積極的に取り組み、力を付けたいと思っている生徒が多いことが分かる。スピーチやまとまった英文を発表する活動では、英語に苦手意識を持っていても、よりよい発表になるように努力を重ねる生徒が多い。ウォームアップや言語活動などでは、クラスメイトとの簡単な会話に笑顔で取り組んだり、パートナーや班員と協力して課題を解決したりする姿勢も身に付きつつある。

○実態調査

(*年*組 *人 *月*日調べ)

- 1 英語の学習においてどの能力を向上させたいと思って活動に取り組んでいますか。(複数回答)
- ア Reading (教科書の英文や会話文などを読んで理解すること) …*人
 - イ Writing (自分の意見や示された日本語の意味になるように英文を組み立てること) …*人
 - ウ Speaking (自分の意見や考えを話したり、相手との会話の中で自分の気持ちを伝えたりすること) …*人
 - エ Listening (相手の意見や考えを聞いたり、CDやリスニング問題で英文を聞いたりすること) …*人
- 2 乗り物での道案内表現(未習)の問題の正答数
- ①山の手線 Yamanote (line). …*人
 - ②次は品川駅です。The next (station) is Shinagawa. …*人
 - ③ここで京王線に乗り換えてください。Please (change) trains here for Keio Line. …*人

(3) 指導観

乗り物での道案内の表現(未習)を身に付けさせ、できるだけ多くの友だちと会話をする機会を意図的につくることで、積極的にコミュニケーションをとり、相手と情報交換する態度の育成を図る。

反復練習を通して、自分の知っている情報を友だちに伝える表現をしっかりと確認させ、自信を持って伝えられるように十分な練習時間を確保したい。また、情報を伝える時間とたずねる活動の時間を区別することで、それぞれの表現に集中させ、表現の定着に努めたい。

4 指導計画(2時間扱い)

次	時	主な学習内容	観点別評価規準
1	1	乗り物での道案内の表現を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・道案内の会話から、目的地までの行き方を理解することができる。 (理解) ・ていねいな依頼やそれに対する応答、乗り物についてよく使う表現を身に付けることができる。 (言語・文化)
	2 本 時	乗り物での道案内の表現を用いて、実際に目的地までの行き方をたずねたり、それに応答したりする表現を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ある場所への乗り物での行き方や、それに対する応答を身に付けようと言語活動に意欲的に参加しようとする。 (関心・意欲・態度) ・「～への行き方を教えていただけますか。」とたずねたり、それに対する応答をしたりすることができる。 (表現)

5 本時の指導

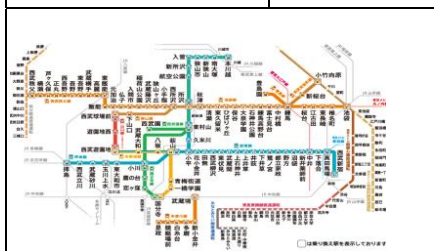
- (1) 目標 「～への行き方を教えていただけますか」とたずねたり，それに応答したりしてお互い知っている情報を交換し合う。
- (2) 準備・資料 行き方カード，路線図，プロジェクター，ワークシート，評価カード
- (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点及び評価	
	JTE	ALT
1 Greeting (挨拶) Chants, song 2 Warm-up (ウォームアップ) A) Could you tell me how to get to ~? B) Take ○○ line to △△ and change trains there. 3 Knowing Target (ねらいを知る) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 乗り物の道案内の表現をマスターして，路線図を完成させよう。 </div> 4 Activity (活動) (1) Collaborative learning (グループ活動) ① Practice how to explain (自分の情報の表現の仕方を練習する) ② Ask friends how to get to ○○ (友だちに各目的地への行き方をたずねる) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> A) Could you tell me how to get to ~? B) Take ○○ line to △△ and change trains there. A) How many stops is ~ from here? B) (数字) stops. A) Which line should I take from △△? B) Take ×× line. It's the train on Track (数字). (2) Collect STs' ideas (グループの情報をまとめる) </div> 5 Conclusion (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の意識を英語学習へと向ける。 後の言語活動につながるように，路線図から判断し，自分で答えられるように伝える。 デモンストレーションをし，理解を促す。 できるだけ英語を用いて，ALTの説明の補足をする。 最終的にはグループで路線図を完成させるように見通しを持たせる。 個人に路線図を渡し，目的地までの道を説明の仕方をグループで確認する。 できる限り多くの目的地への行き方を聞けるように指示する。 路線図から判断し，可能な生徒はモデル文を見ないで，アイコンタクトをとりながら話すように指示する。 路線図を完成させる活動ではグループのメンバーが収集してきた情報を英語で交換し，友だちの情報を傾聴する。 <p>【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価カードに本時の振り返りをする。 グループ活動で積極的に活動していた友人を評価することで他を認める態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習への雰囲気高める。 デモンストレーションをし，理解を促す。 英語でねらいの説明をする。 ジェスチャーや掲示物を用いながら説明をする。 説明に自信の持てない生徒の表現を確認する。 デモンストレーションをする際に，路線図への記入のしかたを英語で説明する。 言語活動に参加し，情報を伝え合う。 活動に自信の持てない生徒に対応する。 多くの情報を集められた班を称賛したり，情報が少ない班には情報を与えたりする。 本時のよかった点を伝え，今後の意欲につなげる。

(4) 板書計画

Tuesday, October fifteenth, sunny

課題



～最初のあいさつ～

- A) Could you tell me how to get to ~?
 B) Take ○○ line to △△ and change trains there.
 A) How many stops is ~ from here?
 B) (数字) stops.
 A) Which line should I take from △△?
 B) Take ×× line. It's the train on Track (数字).

～お礼～